

## あとがき

医療の高度化、専門職化の進展に対応した資質の高い看護師等育成の要請を受けて、専修学校において教育活動等の状況についての自己点検・自己評価を行うこと、その結果を公表することが努力義務化された。看護専門学校として看護教育の充実に自主的に取り組む環境を整備していくことは、「広く社会に貢献できる良看護師の育成」を目指している本校にとって当然の課題であると理解し受け止め、第1ラウンドとしての組織を立ち上げ進めていった。指針に示されているデータの収集・整理をしていくプロセスにおいて、改めて現在まで行ってきた教育の方向性や実施内容の意義や重みを認識することができた。日々懸命に良看護師の育成に尽力していると自負してはいたが、日々の成果、学期毎の成果、学年毎の成果、入学してから卒業までの成果、卒業後までを捉えた成果への責任が果たせていたのであろうかと認識している。同時に看護の基盤を育成するための学生一人ひとりの育ち、本校を看護基礎教育の場として選んでくれた学生たちの育ちへの支援のあり方を真摯に受け止め振り返る機会ともなった。初回の自己点検・自己評価の作業は、「看護師養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会」の意向そのものであったと今感じている。公表するにはまだまだ決意が必要な箇所も多々あるというのが本当のところではあるが、このステップを踏むことができたことを喜びたいと思っている。

第1ラウンドの結果を基に、改善に向けて組織として綿密に計画的に具体策を講じ前向きに取り組んできた。そして、教育に直接関わりを持っている者だけでなく、地域社会の方々、広く一般の方々にご理解をいただけるような看護師養成所としてのあり方を指向し、現在に（平成23年度）至っている。微力ながら第1ラウンドの段階で課題となっていることの改善を試みてきた。追記する形ではあるが報告し、平成24年3月を持って本校は開校となる。今後も、看護基礎教育への真摯な姿勢をいかなる時も持ち続けていきたいと考える。